

airstream s300

Wireless Speaker

取り扱い説明書





# 目次

お買い上げ頂き、ありがとうございました	1	ファームウェアのアップデート	15
Introduction	2	ファームウェア・アップデートの自動通知	15
S300 Capability	2	USBを使ったファームウェア・アップデート	15
付属品	2	Web ブラウザからのファームウェア・アップデート	16
AirPlay 互換性	2	インフォメーション LED カラーマトリックス	18
AirPlay 互換の iOS デバイス	2	AirPlay と AirPlay Direct について	19
USB 互換性	2	AirPlay モード	19
S300 各部の名称と役割	3	AirPlay Direct モード	19
リモコンのボタンと役割	3	仕様	20
再生の前準備	4	動作がおかしいとき	21
電源の接続	4	Wi-Fi ネットワークに接続できない	21
電源の投入 (初回)	4	再生音が出ない	21
APC	4	S300 が反応しない	21
AirPlay Direct	5	再生の途中で音が時々途切れる	21
AirPlay Direct から AirPlay への切替え	5	AirPlay のアイコンが表示されない	21
Wi-Fi ネットワークへの接続	6	MAC / PC から AirPlay の接続ができない	21
必要なもの	6	その他の場合	21
手順 1	6	ファクトリーリセット	22
手順 2	7	リモコンの電池の交換	22
iOS デバイスを使用する場合	7	用語解説	22
音楽の再生	11	ネットワーク (ローカルエリアネットワーク: LAN)	22
iOS デバイスから AirPlay を使って再生する	11	Wi-Fi	22
iOS7 から AirPlay を使って再生する	11	Wi-Fi ルーター / Wi-Fi 親機	22
iOS7 以外の iOS デバイスから AirPlay を使って再生する	11	SSID (Service Set ID)	22
PC / Mac の iTunes から再生する	12	WEP, WPA, WPA2	22
Mac の音声出力先を S300 にする (OS X Mavericks)	12	暗号化キー	22
USB 入力から再生する	13	IP アドレス	22
Aux 入力(3.5 mm ジャック)からの再生	14	MAC アドレス	22
レディーモード (Ready Mode)	14	DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)	22
レディーモードとは	14	ファイアウォール	22
レディーモードへの入り方	14	オーナー情報	23

## お買い上げ頂き、ありがとうございました

この度は、モニターオーディオの Airstream S300 をお買い上げ頂き、誠にありがとうございました。S300 は、AirPlay 互換のデバイス (iPhone、iPad、iPod Touch) または PC / Mac の iTunes から、あなたの音楽を解き放つ新しい方法です。そして、ワイヤレス、マルチルーム・エンターテインメントの素晴らしい旅路の第一章です。

Airstream 製品とその情報については、是非 [www.airstream-ma.com](http://www.airstream-ma.com) をご覧ください。

お買い上げ頂いた Airstream S300 を、今後の安心と、モニターオーディオから最新のニュースをお届けするために是非製品登録してください。登録をして頂いた方には、モニターオーディオの製品が当たるチャンスもあります。登録は [www.airstream-ma.com/register](http://www.airstream-ma.com/register) から行って頂きます。

Airstream S300 は、モニターオーディオの最新の高品質な製品であり、この先何年も音楽を楽しんで頂けます。ご愛用ください。モニターオーディオとその製品に関する詳しい情報は、[www.monitoraudio.co.uk](http://www.monitoraudio.co.uk) をご覧ください。

お買い上げ時の販売店の情報は後から必要になる場合があります。最後のページにある、オーナー情報に、記入しておかれることをお勧めします。

## Introduction

アップルが iOS 4.2 を発表した時に、AirPlay が誕生しました。モニターオーディオは、40 年にわたり真のハイファイ機器を製造して来た知識を、AirPlay に対応したスピーカーシステムを開発するのに注ぎ込みました。AirPlay Direct を使ったときも、ワイヤレス・ルーター経由であなたの音楽ライブラリを PC や Mac からでストリーム再生するときも、S300 は、あなたの音楽を解き放つ新しい方法なのです。

### S300 Capability

S300 では以下の事が行えます。

1. ワイヤレス・ルーター無しで、AirPlay Direct を使って、iOS デバイスから直接ストリーム再生をする。
2. Wi-Fi ルーター経由で、同じネットワーク上の iOS デバイスからストリーム再生をする。(AirPlay)
3. 複数の Airstream デバイスがネットワーク上にある時には、iOS 上で、どのデバイスから再生するか、選択できる。
4. モニターオーディオの Airstream App を使って、iOS デバイスから、複数の Airstream デバイスで同時に再生する。
5. Wi-Fi ルーター経由で、PC または Mac 上の iTunes (Ver 10 以降)からストリーム再生する。
6. Wi-Fi ルーター経由で、PC または Mac 上の iTunes (Ver 10 以降) から、同一ネットワーク上にある複数の S300 で同時に再生する。

### 付属品

S300 には、本体の他に以下のものが同梱されています。ご確認ください。

リモコン

電源ケーブル

クイックスタートガイド (Quick Start Guide)

安全について (Safety Instruction)

## AirPlay 互換性

AirPlay (AirPlay Direct ではなく) を使用して、S300 で再生するには、次のものがが必要です。

- 802.11/b または 802.11/g の Wi-Fi に認証された(Wi-Fi ログが表示された) ワイヤレスルーター
- iPhone, iPad, iPod Touch (iOS 4.2 以降) の何れか または、PC, Mac 上の iTunes (10 以降)

### AirPlay 互換の iOS デバイス

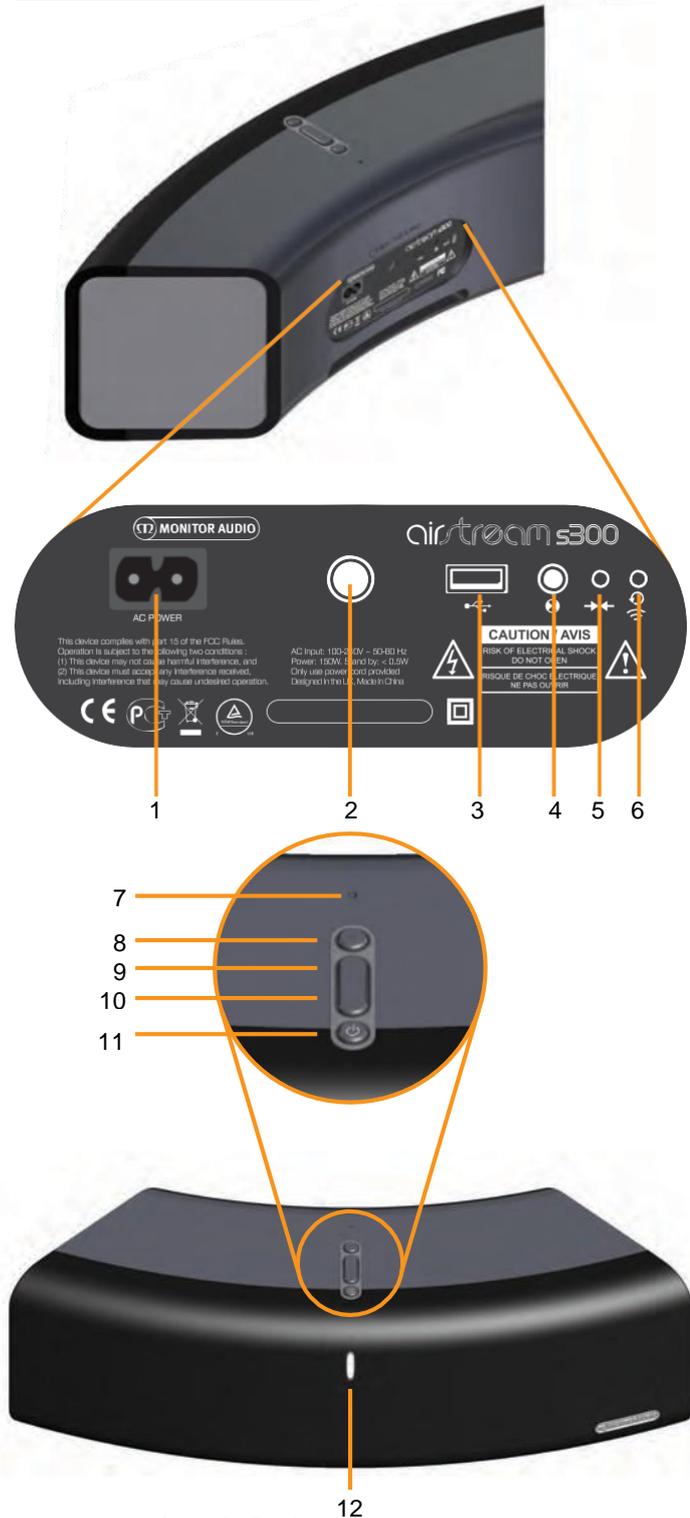
- iPad Air
- iPad 3
- iPad 2
- iPad
- iPad mini Retina ディスプレイモデル
- iPad mini
- iPhone 5C
- iPhone 5S
- iPhone 4S
- iPhone 4
- iPhone 3GS
- iPod Touch 4th Generation
- iPod Touch 3rd Generation
- iPod Touch 2nd Generation

### USB 互換性

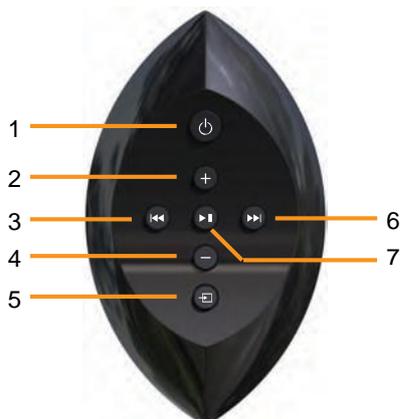
S300 の USB コネクタを通じて音楽を再生できるデバイスは、以下にリストするものです。iPad を除いて、S300 の電源がオンの状態であれば、同時に充電が行われます。

- iPad Air
- iPad 3
- iPad 2
- iPad
- iPad mini Retina ディスプレイモデル
- iPad mini
- iPhone 5C
- iPhone 5S
- iPhone 4S
- iPhone 4
- iPhone 3GS
- iPod Touch 4th Generation
- iPod Touch 3rd Generation
- iPod Touch 2nd Generation
- iPod Touch
- iPod Classic
- iPod Nano 5th Generation
- iPod Nano 4th Generation
- iPod Nano 3rd Generation
- iPod Nano 2nd Generation
- iPod Nano

## S300 各部の名称と役割



## リモコンのボタンと役割

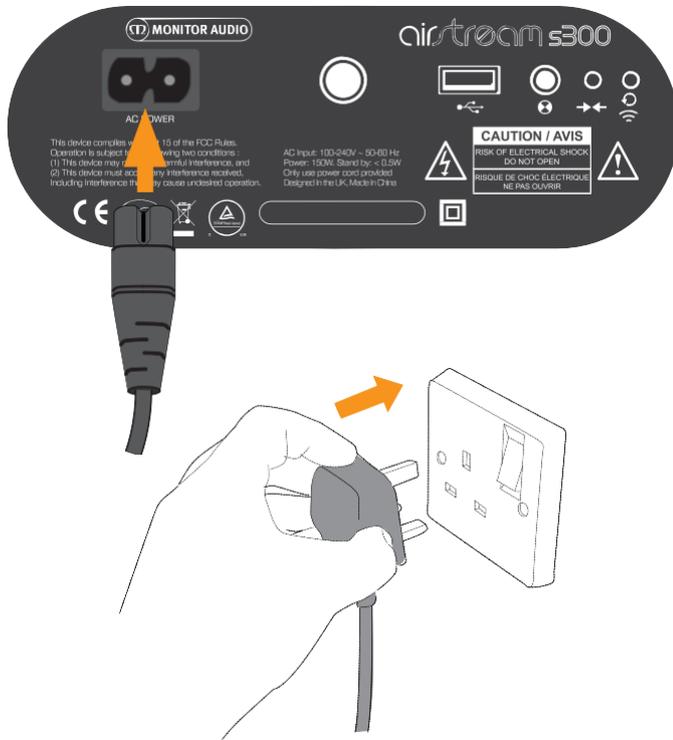


- 1. 主電源入力端子** 付属の電源ケーブルを接続します。
  - 1/4" UNC ネジ受け** モニターオーディオの汎用スピーカーマウント(別売)で、壁に取付ける時に使用します。
  - USB 入力** iPod, iPhone, iPad で、AirPlay 互換でないデバイスから音楽を再生するのに使用します。互換デバイスについては 2 ページを参照してください。また、S300 を Wi-Fi ネットワークに接続する時にも使用します。S300 の電源がオンの時は、ここに接続されたデバイスを充電します。(iPad を除く)
  - Auxiliary (補助) 入力** アナログのステレオ信号を入力する時に使います。3.5 mm ステレオジャック
  - Airstream connect / AirPlay Direct ボタン** ⇄ このボタンは二つの役割を持っています。短く押した時には、S300 を AirPlay Direct モードにします。5 ページをご覧ください。12 秒以上押し続けることにより、S300 をネットワークへの接続モードにします。7 ページをご覧ください。
  - Wi-Fi Sharing / Factory Reset ボタン** 📶 このボタンも二つの役割を持っています。S300 を Wi-Fi ネットワークに接続を開始する時には、このボタンを短く押してください。6 ページをご覧ください。12 秒以上押し続ける事により、工場出荷時の状態にリセットすることが出来ます。21 ページをご覧ください。
  - マイクroフォン** APC (Automatic Position Correction) 用 S300 が、設置場所、部屋の特性を自動的に測定し、補正するために使用します。ページ 4 をご覧ください。
  - 入力切り替えボタン** 📺 一回押す毎に、S300 の入力が AirPlay → USB → AUX と切り替わります。
  - +** 再生のボリュームを上げます。
  - 再生のボリュームを下げます。
  - 電源ボタン** S300 の電源オンとスタンバイ状態を切り替えます。このボタンが赤く光っているときは、電源はスタンバイ(待機)状態です。このボタンが白く光っている時は、電源はオンです。スタンバイから電源オンになった時は、S300 はその前に選択されていた入力を保ちます。このボタンを押し続けると、S300 は Ready Mode になります。Ready Mode については、13 ページをご覧ください。
  - インフォメーション LED** S300 の現在の状態を色と点滅パターンで知らせます。点滅パターンの種類と説明は、18 ページをご覧ください。
- 電源ボタン** S300 の電源を、オン、スタンバイに切り替えます。リモコンのボタンでは、S300 を Ready Mode にすることは出来ません。(本体の電源ボタンで操作してください)
  - +** 再生のボリュームを上げます。
  - “Previous track”** 現在再生中の曲の先頭か、前の曲に戻ります。
  - 再生のボリュームを下げます。
  - 入力切り替えボタン** 📺 一回押す毎に、S300 の入力が AirPlay → USB → AUX と切り替わります。
  - “Next track”** 次の曲を選択します。
  - “Play / Pause”** 現在再生中の曲の演奏をポーズ(一時停止)します。再度押すとその位置から再生します。

## 再生の前準備

### 電源の接続

付属の電源ケーブルを S300 の背面の主電源入力端子に接続します。次に電源ケーブルのプラグを電源コンセントに接続します。



### 電源の投入 (初回)

スタンバイボタンを押し、S300 の電源をオンにします。お買い上げ後に最初に (又はファームウェアのアップデート後に) 電源をオンにした時には、S300 はブートアップ(初期化)に入り、LED の表示は、青色の速い点滅となります。その後、未だネットワークに接続されていないために、入力は Aux モードになります。



## APC

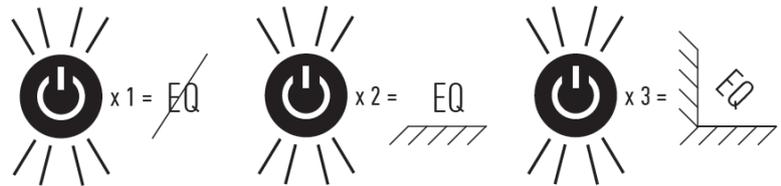
APC (Automatic Position Collection) は、S300 の周囲にあるテーブル、棚板、壁等による反射と、部屋の音響特性を補正します。どのような場所に置かれたときも、部屋の壁、コーナー、家具などによる影響を含めた総合周波数特性を、内蔵されたマイクロフォンで測定し、その設置環境で最適なサウンドバランスとなるように、S300 を補正します。APC により、設置場所によらず、S300 は素晴らしい再生音を保ちます。

APC は次に説明する手順で行ってください。設置場所が決まったら、音楽を聴き始める前に、APC を実行することを強くお勧めします。

1. S300 が AC 電源に接続され、スタンバイになっている時に、「入力切替」ボタンを押したまま、「電源」ボタンを押します。



2. S300 は、初期化のステップに入り、前面のインフォメーション LED が青の点滅となります。( 18 ページ パターン C)
3. その後 APC が実行されます。APC の実行中、LED は白色の早い点滅となります。( 18 ページ パターン A)
4. APC が完了すると、LED は青色に戻ります。
5. 電源ボタンの LED は、APC が検出した設置状況に応じて決められた回数だけ点滅します。障害物の無いオープンの状態では 1 回、壁に近接している時は 2 回、コーナーに設置されている時には 3 回点滅します。



6. 初めて APC を実行した場合は、S300 は AirPlay Direct モードとなります。既にセットアップが済み、S300 の移動後、APC を実行した時には、その前に使っていたモードに戻ります。

### ヒント

APC は、内蔵マイクでテストトーンを測定しますので、騒音や、他の機器の再生音がある状態では、正確な測定ができません。周囲が静かな状態で実施してください。

## AirPlay Direct

AirPlay Direct モードを使えば、S300 を Wi-Fi ネットワークに接続する前に、又は Wi-Fi ネットワークが無い場所でも、iOS デバイス上の音楽を再生することができます。また、訪ねてきた友人の iOS デバイスにある音楽を S300 で再生したいが、あなたの Wi-Fi ネットワークにはアクセスして欲しくない場合も、このモードを使うことができます。

AirPlay Direct は、コンパチブルな iOS デバイス、または PC / Mac から、Wi-Fi ルータを経由せずに、直接 S300 に音楽をストリーミング再生するモードです。以下の手順で、このモードに入ります。

1. S300 を、オンの状態にします。



2. リアパネルの AirPlay Direct ボタン  を押します。



3. フロントパネルの LED は、紫の点滅の後に、紫に点燈します。



4. iOS デバイスで、「設定」に入り、「Wi-Fi」を選択します。Wi-Fi ネットワークの一覧が表示されます。その中に、「Airstream S300...」という名称のものがありますので、それを選択してください。選択が終わったら、Home ボタンを押して、設定を抜けます。



### ヒント

"Airstream S300..."というネットワーク名が表示されない場合は、一旦 Home ボタンで設定を終了し、再度試してみてください。表示されるまでに数秒かかることがあります。

5. この後、AirPlay を使って再生することができます。AirPlay の使い方については、11 ページをご覧ください。

### ヒント

電話を着信したときは、音楽の再生は一旦ポーズ状態となり、通話が終わると、再開されます。

AirPlay Direct を使用している時は、iOS デバイスはインターネットに接続されません。メールや iMessage 等のアップデートは行われないのでご注意ください。

一度に複数の iOS デバイスを AirPlay Direct に接続できますが、再生できるのは 1 台のみです。

AirPlay Direct と通常の AirPlay モードは本体背面の AirPlay ボタン  を押すことで、いつでも切り替え可能です。

PC または Mac が、Wi-Fi インターフェースを持っていれば、iTunes から AirPlay Direct が使えます。左の Step 4 で、Wi-Fi を選択するときに、それぞれの環境の Wi-Fi ネットワーク選択ツールを使ってください。

PC または Mac から AirPlay Direct を使用する時の Wi-Fi ネットワーク選択ツールに関しては、9 ページの説明を参考にしてください。

AirPlay Direct から AirPlay への切替え

1. AirPlay Direct モードから、通常の AirPlay に切替えるには、S300 背面の AirPlay Direct ボタン  を押します。



2. S300 は、Wi-Fi ルーターに接続しようとして、インフォメーション LED が青色で点滅します。これ以降の動作は、S300 を既に Wi-Fi ルーターに接続しているかどうかにより異なります。既に接続した Wi-Fi ルーターが検出されれば、S300 は、そのルーターに接続し、完了した時に LED は青色の常時点灯になります。もし、未だ S300 を Wi-Fi ルーターに接続していない時、または以前接続したルーターのサービス圏外の時には、LED は、青色の早い点滅から、青色のゆっくりした点滅に変わります。Wi-Fi ルーターへの接続の手順については、6 ページをご覧ください。

## Wi-Fi ネットワークへの接続

S300 を Wi-Fi ネットワークに接続するには、2 つの方法があります。手順 1 は、既に Wi-Fi ネットワークに接続済みの iPhone、iPad、iPod Touch を、Apple の USB ケーブルを使って S300 に接続し、セットアップを行う方法です。Wi-Fi ネットワークの接続に必要な情報は、S300 がこれらのデバイスから自動的に取り込みます。手順 1 の方が簡単ですので、既に Wi-Fi に接続されたこれらのデバイスがある場合は、こちらをお勧めします。もうひとつの方法、手順 2 は PC、Mac、iOS デバイスから S300 の WEB ポータルにアクセスし、Wi-Fi ネットワークの接続に必要な情報を設定する方法です。Wi-Fi ネットワークの接続に必要な情報 (SSID、暗号化キー) が必要となります。

### 必要なもの

S300 を Wi-Fi ネットワークに接続するには以下のものが要です。

- ワイヤレスルーター (802.11b または 802.11g をサポートする Wi-Fi ログがついたもの)
- 手順 1 の時: iPod Touch、iPhone 又は iPad とアップル純正の USB ケーブル(30 ピン-USB ケーブルまたは Lightning – USB ケーブル)
- 手順 2 の時: Wi-Fi インターフェース付きの PC / Mac、又は iPod Touch / iPhone / iPad
- S300

### ヒント

どちらの手順に進む場合も、その前に、S300 を最終的に設置する場所に置き、APC を実行しておくことをお勧めします。APC については、4 ページをご覧ください。

### 手順 1

この方法は、既に Wi-Fi ネットワークに接続された iOS デバイスからネットワーク接続に必要な情報を取得します。iOS 5 以降を搭載する、以下のいずれかの iOS デバイスと、アップル純正の USB 接続ケーブルをご用意ください。

- iPad Air、iPad 3、iPad 2、iPad
- iPad mini Retina ディスプレイモデル、iPad mini、
- iPhone 5S、iPhone 5C、iPhone 4S、iPhone 4、iPhone 3GS
- iPod Touch 4<sup>th</sup> Generation、iPod Touch 3<sup>rd</sup> Generation、iPod Touch 2<sup>nd</sup> Generation

1. 最初に S300 の電源をオンにします。前面パネルのインフォメーション LED は、最初は青の点滅、次に赤のゆっくりした点



滅になります。もし、LED が紫に点灯した場合は、AirPlay Direct モードになっていますので、AirPlay Direct ボタン  $\rightarrow \leftarrow$  を押して、AirPlay Direct から抜けてください。S300 は、Wi-Fi ネットワークの検索に移ります。

2. インフォメーション LED が、赤のゆっくりした点滅になったら、iOS デバイスを、アップル純正 USB ケーブルで S300 の USB ポートに接続します。



- S300 の Wi-Fi Sharing ボタン  (上図または 3 ページ 6) を押します。
- iOS デバイスのスクリーンに、このデバイスが Wi-Fi の設定を使うことを許可するかどうかを尋ねるプロンプトが表示されます。「許可する」を選択してください。



- インフォメーション LED は、青色のゆっくりした点滅になります。Wi-Fi ネットワークへの接続が完了すると、青色の連続点灯に変わります。



- インフォメーション LED が青色の連続点灯になったら、接続完了です。AirPlay を使って再生する準備が整いました。USB ケーブルを外してください。USB ケーブルをつないだままだと、AirPlay をすることが出来ませんのでご注意ください。

#### ヒント

もし、この方法で Wi-Fi ネットワークに接続できない場合は手順 2 をお試しください。

- AirPlay で再生する方法については、11 ページをご覧ください。

## 手順 2

手順 1 を使って S300 を Wi-Fi ネットワークに接続した場合は、この手順を実行する必要はありません。

この方法で接続を行うには、Wi-Fi インターフェースを備えた PC/Mac あるいは、iPod Touch、iPhone または iPad が必要です。この方法では、Wi-Fi ネットワークの名前 (SSID) と暗号化キーを S300 の Web ポータルに入力する必要があります。これらの情報を予め調べておいてください。

#### ヒント

Wi-Fi ネットワークの名前(SSID)と暗号化キーを調べ、メモしておいてください。調べ方については、Wi-Fi ルーターの取り扱い説明書を参照してください。本体側面のラベルに SSID と暗号化キーが表示されているルーターで、購入してから変更をしていなければ、ラベルの情報をメモしてください。

#### iOS デバイスを使用する場合

(PC / Mac を利用する場合は 9 ページの説明に進んでください)

- 最初に S300 の電源をオンにします。前面パネルのインフォメーション LED は、最初は青の点滅、次に赤のゆっくりした点



滅になります。もし、LED が紫に点灯した場合は、AirPlay Direct モードになっていますので、AirPlay Direct ボタン [▶◀] を押して、AirPlay Direct から抜けてください。S300 は、Wi-Fi ネットワークの検索に移ります。

- インフォメーション LED が、赤のゆっくりした点滅になったら、Airstream Connect / Airplay Direct ボタン [▶◀] を、インフォメーション LED が白色の点滅になるまで押し続けてください。約 12 秒以上押し続ける必要があります。



- iOS デバイスで、「設定」を開き、Wi-Fi を選択します。

4. アクセス可能なネットワークの一覧が表示されます。その中から、"Airstream Connect" という名称のネットワークを探し、選択してください。左端にチェックマークが表示されたら、ホームボタンを押して、「設定」を終了します。



5. 次のステップには二つの方法があります。iOS デバイスが QR リーダーを備えている場合は、下の QR コードを読み取ってください。そうでない場合は、「Safari」を開き、アドレスバーに 192.168.1.12 を入力します。



#### ヒント

192.168.1.12 にアクセスできない場合は、一旦 S300 をスタンバイにし、Step 1 からやり直してみてください

6. S300 のポータルページが下の図のように表示されます。左側のリストから、「Wi-Fi Setup」を選択します。



7. ここで、この WEB ポータルの画面で、SSID のプルダウンメニューで、メモしておいた Wi-Fi ネットワークの SSID に合致するものを選びます。次に WEP Key または WPA Passphrase (暗号化方式に応じてどちらかが表示されます) に、暗号化キーを入力し、「Apply」ボタン(矢印)を押します。iOS デバイスのキーボードに表示される、「GO」は押さないで下さい。必ず図の「Apply」と表示されたボタンを押してください。



8. すると下図のように、セーブしても良いかどうかを確認するポップアップが現れます。「OK」を選択します。



9. S300 のインフォメーション LED は、青色のゆっくりとした点滅になった後、青色の点灯となります。これで、S300 の Wi-Fi ネットワークへの接続は完了です。

ここまで済んだら、設定に使った iOS デバイスを、元の Wi-Fi ネットワークへの接続に戻しておいてください。

1. iOS デバイスの「設定」を選択します。設定の画面で「Wi-Fi」を選んでください。
2. もともと接続していた Wi-Fi ネットワークを選択します。
3. 接続したい Wi-Fi ネットワークの名称の左側にチェックマークが着いたら、Home ボタンを押して「設定」を終了します。
4. AirPlay を使って音楽を再生する方法については、11 ページをご覧ください。

PC / Mac から設定する場合

- 最初に S300 の電源をオンにします。前面パネルのインフォメーション LED は、最初は青の点滅、次に赤のゆっくりした点滅になります。もし、LED が紫に点灯した場合は、AirPlay Direct モードになっていますので、AirPlay Direct ボタン [ →← ] を押して、AirPlay Direct から抜けてください。S300 は、Wi-Fi ネットワークの検索(赤色のゆっくりした点滅)に移ります。



- インフォメーション LED が、赤のゆっくりした点滅になったら、Airstream Connect / Airplay Direct ボタン [ →← ] を、インフォメーション LED が白色の点滅になるまで押し続けてください。約 12 秒以上押し続ける必要があります。
- PC で、ワイヤレス・ネットワークの選択ツールを開きます。

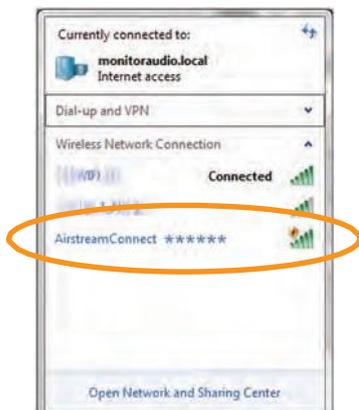


Windows の場合は、ツールバーの右側に通常選択ツールを起動するアイコンがあります。Mac の場合は、ステップ 6 に進んでください。

ヒント

Windows 7 では、右下のワイヤレス・ネットワークの信号強度のインジケータをクリックするとワイヤレス・ネットワークの選択ツールに入れます。見当たらない時は、小さな上向きの三角形をクリックしてください。

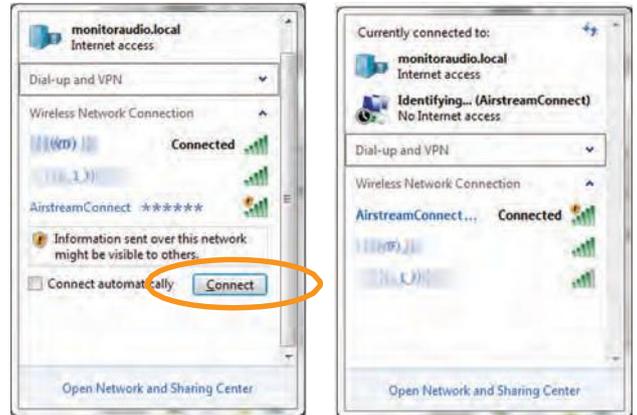
- ワイヤレス選択ツールに、現在選択されているネットワークと、検出されたネットワークの一覧が現れます。"Airstream Connect \*\*\*\*\*" という名称のネットワークが表示されます。(6 個のアスタリクの部分は、S300 の Mac アドレスが表示されます。)



ヒント

"Airstream Connect .." というネットワーク名が表示されない場合は、右上にあるリフレッシュボタンを押してみてください。

- "Airstream Connect \*\*\*\*\*" を選択し、接続ボタンを押してください。数秒で、"Airstream Connect " ネットワークに接続されます。



Windows の場合は、Step 7 に進みます。

- Mac の場合は、右上のメニューバーに、Wi-Fi ネットワークの信号強度インジケータ があります。これをクリックすると、検出されたネットワークの一覧が表示されます。"Airstream Connect\*\*\*\*\*" を選択し、ステップ 7 に進んでください。



ヒント

Windows、Mac ともに、\*Airstream Connect \*\*\*\*\* というネットワークが表示されない場合は、一旦選択ツールを終了し、2-3 秒後に再度試してください。

7. Web ブラウザーを立ち上げ、アドレスバーに 192.168.1.12 と入力します。 下図に示す、S300 の Web ポータル画面が現れます。

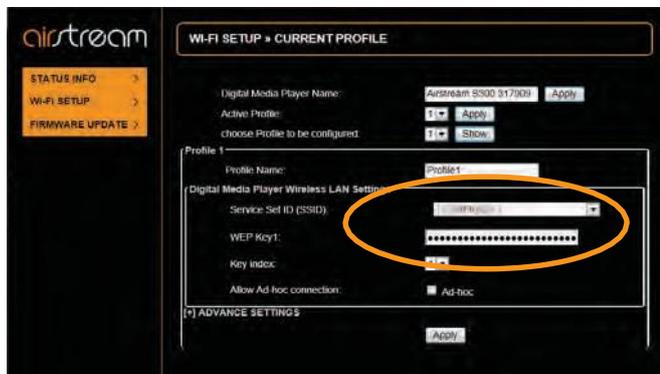


8. 左側の背景がオレンジ色のメニューから、真ん中にある Wi-Fi セットアップをクリックします。 接続する Wi-Fi ネットワークのプロファイルの入力ページが現れます。

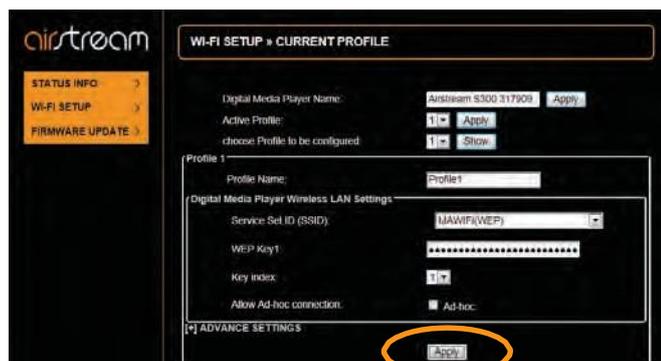


9. SSID のドロップダウンをクリックし、接続したい Wi-Fi ネットワークの SSID を選びます。

WEP Key または WPA Passphrase (暗号化方式に応じてどちらかが表示されます) という欄に、暗号化キーを入力してください。



10. 入力を終わったら、"Apply"と表示されたボタンを押します。 警告のポップアップ (ページの右上) が表示されますので、OK を押してください。



#### Windows の警告ポップアップ



#### Mac の警告ポップアップ



11. OK ボタンを押した後は、Web ブラウザーの表示は更新されません。 S300 のインフォメーション LED は、ネットワークに接続を試みる間、青色で点滅します。 ネットワーク接続が確立すると、S300 は直前の入力モードに戻ります。 AirPlay を選択するには、インフォメーション LED が青色の点灯となるように、入力切替ボタンを押してください。 もし、インフォメーション LED が、ゆっくりと赤色で点滅する場合は、ネットワークへの接続に失敗した状態を表します。 ステップ 9 で入力した SSID、暗号化キーに間違いがあった可能性があります。 この場合、お手数ですが、もう一度ステップ 1 からやり直してください。

12. 接続に使用した、PC/ Mac の Wi-Fi ネットワークの設定を、元に戻しておいてください。

13. AirPlay で音楽を再生する方法については、11 ページをご覧ください。

#### ヒント

ステップ 1 からやり直しても、LED が赤色の点滅になってしまう場合、Wi-Fi ルーターの信号が弱い可能性があります。 S300 をルーターに近づけ、再度設定をしてください。

## 音楽の再生

iOS デバイスから AirPlay を使って再生する

S300 の電源がオンであり、Wi-Fi ネットワークに接続されていることを確認してください。

S300 の入力 AirPlay 以外になっている場合でも、iOS デバイスから S300 を AirPlay の出力先に選択することにより、S300 の入力は自動的に AirPlay になります。

### ヒント

S300 のインフォメーション LED が点滅している時は、S300 が初期化中(青色の早い点滅)か、WiFi ネットワークをサーチ中(赤色のゆっくりした点滅)です。いずれの場合も、iOS デバイスで AirPlay のアイコンは表示されません。しばらくお待ちください。

iOS7 から AirPlay を使って再生する

1. 画面の下端から上に向かって一本指でスワイプし、(画面の下端にタッチしてそのままなぞるように上に指を動かす)、下図に示すコントロールセンターにアクセスします。AirPlay 可能なデバイスがネットワーク上にある時には、中央下部に、AirPlay のアイコン  が表示されます。
2. この AirPlay のアイコンをタップして、AirPlay に "Airstream S300 \*\*\*\*\*" を選択する。



iPad の画面



iPhone, iPod touch

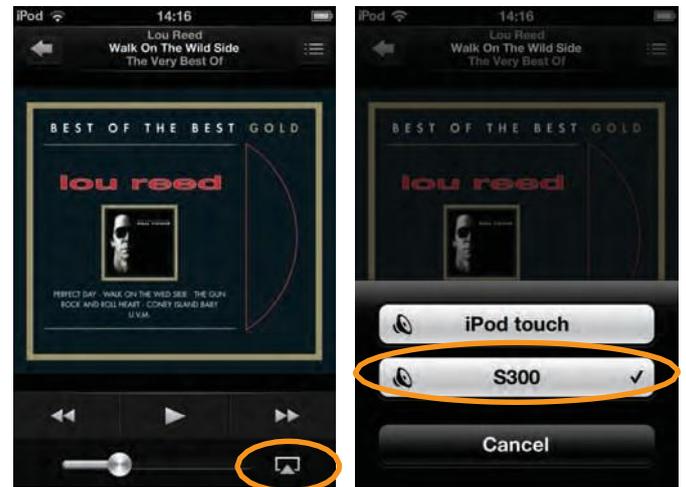
3. AirPlay のアイコンは白に変わり、AirPlay 中であることを示します。この状態では、iOS 上の"ミュージック"、"ビデオ"、"Safari" などほとんどの App からの音声は S300 から再生されます。

### ヒント

コントロールセンターには、Wi-Fi をオンオフするボタン、機内モードを設定するボタンもあります。誤って Wi-Fi をオフにしたり、機内モードをオンにすると、AirPlay が行えないので注意してください。アイコンが白いときにオンです。Wi-Fi が白(オン)、飛行機のマークがグレー(機内モードオフ)の状態にしておいてください。

iOS7 以外の iOS デバイスから AirPlay を使って再生する

1. iOS デバイス上で、"ミュージック" を立ち上げ、お聞きになりたい音楽を選択します。
2. "ミュージック"で、再生中の画面右下に、AirPlay のアイコン  が表示されます。これをタップし、Airstream S300 を選択します。



3. AirPlay のアイコンは、色がついてハイライトされた状態となります。これは、この iOS デバイスからの音声の再生が、AirPlay 経路で行われている状態であることを示します。再生ボタンを押してください。S300 から再生音が流れます。再生の音量は、iOS デバイス側で、通常の方法で行えます。("Music"のスライドバーまたは側面の音量ボタン) また、AirPlay の設定は、"ビデオ"、"Safari" の再生コントロールからも行えます。



iOS デバイスからの再生はこのように簡単に行えます。音楽をお楽しみください。

### ヒント

"ミュージック" で AirPlay を設定しておけば、"ビデオ"、"Safari" の音声も AirPlay で S300 から再生されます。You Tube など S300 でお楽しみいただけます。

## PC / Mac の iTunes から再生する

S300 の電源がオンであり、Wi-Fi ネットワークに接続されていることを確認してください。 PC/Mac は LAN で、又は Wi-Fi 経由で S300 の接続している Wi-Fi ルーターと同一ネットワーク上に接続されている必要があります。

S300 の入力 AirPlay 以外になっている場合でも、iTunes から S300 を AirPlay の出力先を選択することにより、S300 の入力は自動的に AirPlay になります。

1. PC / Mac で、iTunes を開きます。 ボリュームコントロールの右側に、AirPlay のアイコン  が表示されます。 AirPlay のアイコンは、ネットワーク上に、AirPlay で出力できるデバイスがある時にだけ表示されます。



2. AirPlay のアイコンをクリックし、表示されるデバイスから S300 を選択してください。 AirPlay が出力先に選ばされると、アイコンはブルーに変化します。



3. お聞きになりたい音楽を選択し、お楽しみください。

## Mac の音声出力先を S300 にする (OS X Mavericks)

iTunes から AirPlay を選択した時は、iTunes の音声の出力先は S300 になりますが、他のアプリケーション例えば、Safari で再生するビデオの音声の出力先は S300 にはなりません。 それに対し、Mac で OS X Mavericks (OS X 10.9) をお使いの場合は、コンピュータのサウンド出力先を、AirPlay デバイスに切り替えることができます。 これにより、どのアプリケーションで音楽やビデオを再生しても、S300 をサウンドの出力装置とすることができます。

1. メニューバーの左端にある、アップルのロゴから「システム環境設定」を開きます。 次に「サウンド」をクリックします。
2. 「サウンド」環境設定には、コンピュータの内蔵サウンド装置とともに、AirPlay 可能なデバイスの一覧が表示されますので、「Airstream S300 \*\*\*\*\*」を選択します。

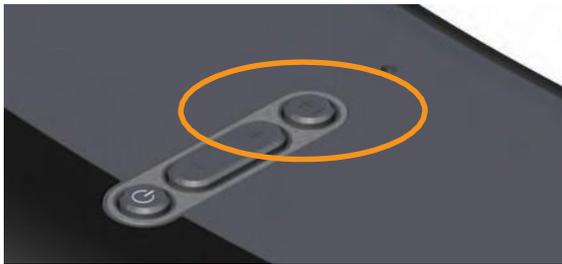


以上で設定は終わりです。  
Mac の全てのサウンドが S300 から出力されます。

### ヒント

この設定が行えるのは、OS X 10.9 の Mac のみです。 Windows では同等のことはできません。 Windows PC で全てのアプリケーションのサウンドを S300 から出力するには、3.5mm ステレオケーブルで PC のサウンド出力を S300 の Aux 入力に接続してください。

AirPlay 中はインフォメーション LED は、青色で点灯しています。(AirPlay Direct を使用している時は紫色の点灯) もし、音楽の再生を始めてもインフォメーション LED が緑色、白色のままの場合は、S300 上面またはリモコンの入力切替ボタン  で、AirPlay モード(LED が青または紫に点灯) となるよう、切り替えてください。



USB 入力から再生する  
USB 入力から再生するには、2 ページの「USB 互換性」リストの機器が必要です。  
S300 の電源がオンになっていることを確認してください。

1. アップル純正の USB ケーブルで、デバイスを S300 の USB 入力に接続します。デバイスが iPhone、iPod touch で S300 の電源がオンの時は、デバイスの充電が開始されます。(iPad は充電されません)



2. S300 の入力切替ボタン  を、インフォメーション LED が白色の点灯になるように押します。(AirPlay モードからは 1 回、Aux 入力からは 2 回押す) USB 入力を選択されます。

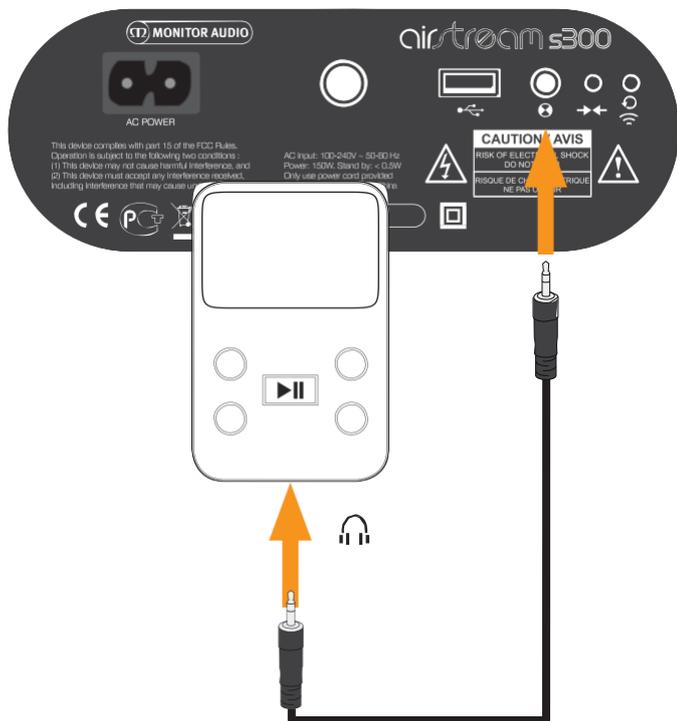


3. デバイスで、「ミュージック」などから、聞きたい音楽を再生します。音量はデバイス側の音量コントロールが使えます。

## Aux 入力(3.5 mm ジャック)からの再生

S300 の電源がオンになっていることを確認してください。

1. 再生したい機器を、3.5 mm ステレオプラグのケーブルで S300 背面の Aux 入力に接続してください。



2. S300 の入力切替ボタン  を、インフォメーション LED が緑色の点灯になるように押します。(AirPlay モードからは 2 回、Aux 入力からは 1 回押す) Aux 入力を選択されます。



3. 機器側で、再生を開始します。

### ヒント

音量の調整 S300 音量ボタン、またはリモコンボタンで行ってください。機器側のボリュームは、音が割れない範囲で、できるだけ大きくしておいてください。

## レディーモード (Ready Mode)

レディーモードとは

レディーモードは、電源をオフにしたスタンバイモードとほぼ同じですが、AirPlay で再生が開始されたとき、USB 端子にデバイスが着脱されたときに、自動的に電源がオンとなるモードです。

レディーモードへの入り方

1. S300 の電源がオンで、インフォメーション LED が点滅していない時に、電源ボタンを 3 秒間押し続けてください。



2. インフォメーション LED は、オレンジ色で点滅を開始し、レディーモードに入ることを知らせます。LED が点滅をやめ、オレンジ色の常時点灯になったら、S300 はレディーモードになっています。



この状態のときは、AirPlay で再生を開始することにより、S300 は自動的に電源がオンとなり、再生を開始します。

### ヒント

S300 の USB 端子にデバイスをつないでいる時に、S300 がレディーモードになっても充電は引き続き行われます。

S300 が、AirPlay Direct モードの時にも、レディーモードにすることが出来ます。但し iOS デバイスの Wi-Fi ネットワークの設定を一旦 "Airstream S300" 以外にした場合、AirPlay で再生をしても、S300 は電源オンにならないことがあります。電源スイッチでオンにしてください。

リモコンの電源ボタンを押し続けても、S300 はレディーモードになりません。レディーモードにする時には、本体上面の電源ボタンを操作してください。

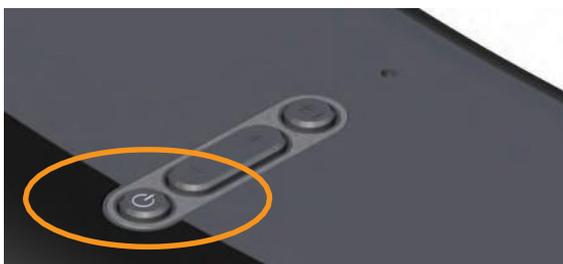
## ファームウェアのアップデート

Wi-Fi ルーター経由でインターネットに接続されている時は、S300 は自動的にファームウェアのアップデートを検索します。また、USB 又は WEB ポータルから手動でファームウェアを更新する方法も備えています。以下に詳細を説明します。

### ファームウェア・アップデートの自動通知

S300 は、ファームウェアのアップデートがインターネット上で見つかった場合は、以下のようにしてユーザーに知らせます。

1. 通常 S300 は、電源投入後の初期化プロセス中はインフォメーション LED が青色で早い点滅を繰り返し、その後選択されている入力に応じた色の連続点灯となります。ファームウェアのアップデートが見つかった場合は、通常インフォメーション LED が連続した点灯に移るタイミングで、LED がゆっくりとした点滅に変わります。
2. 電源ボタンを、インフォメーション LED が白色に点灯するまで押し続けてください。



3. インフォメーション LED が白色に点灯したら、電源ボタンを放します。その後 S300 は、ファームウェアのアップデートプロセスに入り、インフォメーション LED は以下のように変化します。

白色で非常に早い点滅 ファームウェアのアップデート中  
シアン(青緑色) (約 2 秒間点灯)

消灯 アップデート完了

4. アップデートが正常に終了した時は、S300 は、電源がスタンバイモードになります。(電源ボタンの LED が赤く光ります。)
5. 電源ボタンを押すと、S300 は電源オン状態になり、4 ページの説明にある、初期立ち上がり状態となります。

### ヒント

アップデート中の LED の変化などが上記のステップと異なる場合は、アップデートに失敗している可能性があります。USB か WEB ポータルを使ったアップデートを試してみてください。

### USB を使ったファームウェア・アップデート

USB メモリーを使って、ファームウェアをアップデートするには、最初にアップデート版のファームウェアをダウンロードする必要があります。

注意: 使用する USB メモリーは、FAT32 でフォーマットされている必要があります。

1. PC 又は Mac で、インターネットブラウザを開き、[www.airstream-ma.com](http://www.airstream-ma.com) にアクセスし、S300 のページかサポートのページをご覧ください。
2. アップデートされたファームウェアがあれば、ダウンロードして USB メモリーに格納します。
3. S300 の電源をスタンバイにした後、電源ケーブルを抜きます。USB メモリーを S300 の USB 端子に挿します。
4. 電源ケーブルを再度接続して、電源をオンにします。インフォメーション LED は、初期化の間、青色で点滅し、選択された入力に応じた色で点灯します。その後、LED は白色でゆっくりとした点滅になります。これは、アップデート版のファームウェアが検出されたことを示しています。
5. インフォメーション LED が白色で連続点灯になるまで、電源ボタンを押し続けてください。
6. インフォメーション LED が白色に点灯したら、電源ボタンを放します。その後 S300 は、ファームウェアのアップデートプロセスに入り、インフォメーション LED は以下のように変化します。  
白色で非常に早い点滅 ファームウェアのアップデート中  
シアン (約 2 秒間点灯)  
消灯 アップデート完了
7. アップデートが正常に終了した時は、S300 は、電源がスタンバイモードになります。(電源ボタンの LED が赤く光ります。)
8. 電源ボタンを押すと、S300 は電源オン状態になり、4 ページの説明にある、初期立ち上がり状態となります。

### ヒント

アップデート中の LED の変化などが上記のステップと異なる場合は、アップデートに失敗している可能性があります。再度 USB を使った方法を実行するか WEB ポータルを使ったアップデートを試してみてください。

Web ブラウザからのファームウェア・アップデート  
S300 が、Wi-Fi ネットワークに接続されている時は、Web ブラウザからファームウェアのアップデートをすることが出来ます。  
S300 の Web ポータルに接続するには、お使いのブラウザにより、何通りかの方法があります。

- i. Safari の場合—お使いの PC に Safari がインストールされている場合は、Safari のメニューで、「Safari」—「環境設定」—「詳細」と進み、「Bonjour」と書かれた項目の、「お気に入りバーに Bonjour を含める」にチェックマークを入れてください。Safari のお気に入りバーに「Bonjour」という項目が現われます。そこをクリックすると、ローカルネットワーク上のデバイスが現われます。S300 をクリックして、下の Step 1 に進んでください。
- ii. Windows 7 をお使いの時は、スタートメニューからコンピューターを選択します。ウィンドウ左側の項目で、ネットワークを選択し、右側の「メディア機器」と書かれたところをご覧ください。「S300xxxxxx」と表示された機器があるので、それをダブルクリックして、下の Step 1 に進んでください。
- iii. Windows 7 では、コントロールパネルからもアクセスできます。スタートメニューの「コントロールパネル」—「ハードウェアとサウンド」—「デバイスとプリンター」と進んでください。デバイスの下に、「Airstream S300 xxxxxx」という機器が表示されます。それをダブルクリックすると、プロパティ・ウィンドウが現われます。「UPnP」というタブを選択し、「Webpage」と記された横のリンクをクリックし、下の Step 1 に進んでください。
- iv. もし、Wi-Fi ルーターの設定パネル等から、S300 の IP アドレス(192.168.xx.yy, という形式。xx, yy には、Wi-Fi ルーターにより割り当てられた数字が入ります) が判るのであれば、インターネットブラウザのアドレスバーにその IP アドレスを入力することにより、S300 の Web ポータルにアクセスできます。下の Step 1 に進んでください。
- v. もし、S300 の MAC アドレスが判っているなら、インターネットブラウザのアドレスバーに、以下のように入力することにより、S300 の Web ポータルにアクセスできます。  
<http://airstream-s300-xxxxxx.local/index.asp>  
但し xxxxxx は、MAC アドレスの下位 6 桁です。

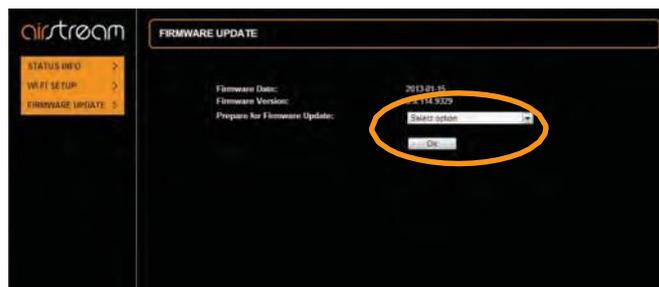


**警告** アップデートの途中では、絶対に S300 の電源コードをコンセントから抜かないでください。また、ブラウザの「戻る」ボタンも決して押さないようにしてください。

1. S300 のアップデートされたファームウェアを、[www.airstream-ma.com/support](http://www.airstream-ma.com/support) からダウンロードし、コンピューターのわかりやすい場所に保管してください。
2. 上記の 5 つの方法のいずれかで、S300 の Web ポータルにアクセスします。下図の画面が現われますので、「Firmware Update」を選択します。



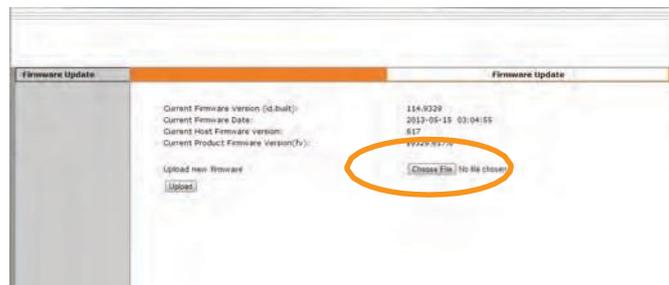
3. "Update Method" と記された横のドロップダウンメニューを開き、「Firmware Update From Network」を選択します。



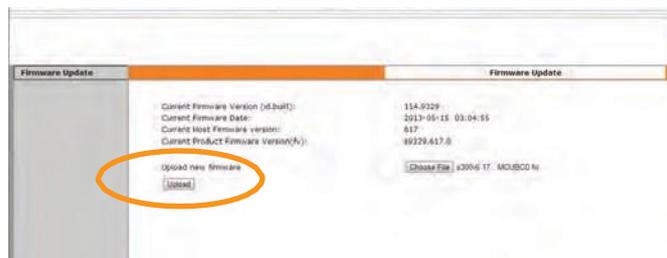
4. "OK"をクリックします。画面は以下のように変わり、数秒で新しいページに移ると表示されています。もし自動的に新しいページ(Step 5 の下の画面)に移らない場合は、「Click here」と書かれたリンクをクリックしてください。S300 のインフォメーション LED は、白色の点灯となります。



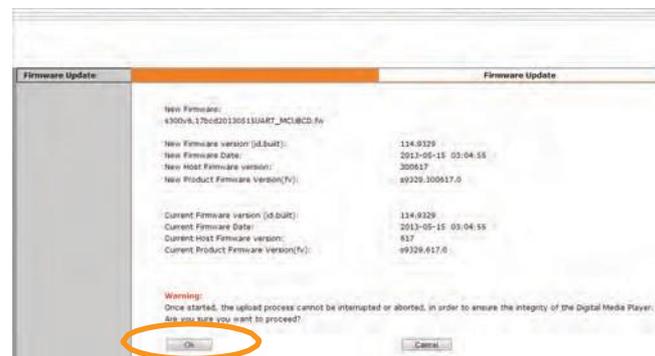
5. 下に示す画面で、「Choose File」というボタンをクリックします。ファイルを選択する画面になりますので、Step 1 で保存したファームウェアのファイルを選択してください。



6. "Upload" というボタンをクリックします。



7. 画面に、現在のファームウェア、更新するために今指定したファームウェアの作成日、バージョン番号などが示されます。確認の上、「OK」と示されたボタンを押します。



8. Web ページは、アップデートの進行状況を表示します。同時に、インフォメーション LED は以下のように変化します。

白色で非常に早い点滅      ファームウェアのアップデート中  
シアン (約 2 秒間点灯)  
消灯      アップデート完了

#### ヒント

アップデート中の LED の変化などが上記のステップと異なる場合は、アップデートに失敗している可能性があります。USB か WEB ポータルを使ったアップデートを試してみてください。

9. これでアップデートは完了です。Web ページが、100%完了したと表示されていなくても、S300 がスタンバイモード(電源ボタンが赤く点灯)に入ったら、アップデートは完了しています。Web ブラウザを終了してください。



10. 電源ボタンを押すと、S300 は電源オン状態になり、4 ページの説明にある、初期立ち上がり状態となります。

## ファームウェアバージョンの確認方法

S300 の現在のファームウェアのバージョンは、以下に述べる方法で確認することができます。サポートのために、モニターオーディオにコンタクトするときに、必要になることがあります。

1. S300 の電源がオンの時に、アップル純正の USB ケーブルで、iOS デバイスを S300 に接続してください。
2. iOS デバイスで「設定」を立ち上げ、「一般」-「情報」を選択します。



3. 「情報」のセクションでスクロールダウンして "Airstream S300" を探してください。
4. \*Airstream 300" をタップすると、以下のページが表示され、製造者、モデル、ファームウェアのバージョン、ハードウェアのバージョンが表示されます。



## インフォメーション LED カラーマトリックス

この表は、インフォメーション LED の状態とその意味を示します。

	1	.	.	.	2	.	.	.	3	.	.	.	4	.	.	.	説明	動作		
通常の動作																				
A	■	□	■	□	■	□	■	□	■	□	■	□	■	□	■	□	白色、早い点滅	APC 実行中		
B	■				□				■				□				白色、ゆっくり点滅	Airstream Connect モード		
C	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	青色、早い点滅	初期化中		
D	■								■								■	■	赤色、時々点灯	Wi-Fi 接続なし
E	■																青色	Airplay モード		
F	■																緑色	Aux 入力		
G	□																白色	USB 入力		
H	■								■								■	■	紫色、時々点灯	AirPlay Direct に移行
I	■																紫色	AirPlay Direct モード		
J	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	オレンジ、早い点滅	レディーモードに移行		
K	■																オレンジ	レディーモード		
ファームウェアのアップデート中																				
L	□				■												白色、ゆっくりと点滅	ファームウェア・アップデー		
M	□																白色	アップデート準備中		
N	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	白色、非常に早い点滅	アップデート実行中		
O	■																シアン(青緑)	AirPlay モードアップデート		
P	■																赤色	アップデート失敗		

## AirPlay と AirPlay Direct について

### AirPlay モード

AirPlay モードでは、S300 は普段お使いの Wi-Fi ルーターに接続されます。

iPhone や iPad 等の iOS デバイスからは、( AirPlay Direct の時のようにその都度 Wi-Fi の設定を変えなくても) いつでも S300 への AirPlay を使えます。iOS デバイスは、インターネットにアクセスできる状態ですので、メールの着信やインターネットへのアクセスもいつも通り行えます。

また、このモードでは、Wi-Fi ルーターに接続された iOS デバイス、PC / Mac、LAN で接続された PC / Mac など、ネットワーク上の全てのデバイスから、S300 を AirPlay を通じて音声の出力先として選ぶことができます。

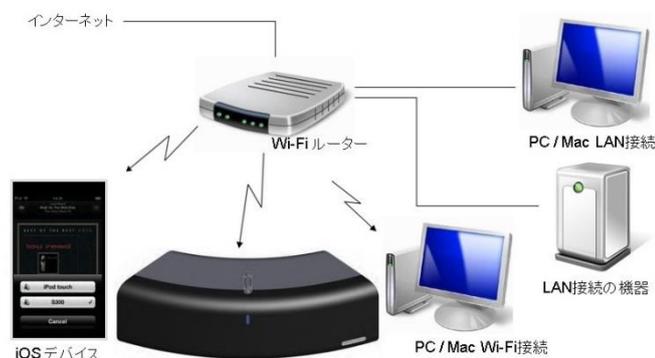


図 1 AirPlay モード

### AirPlay Direct モード

AirPlay Direct モードでは、S300 が Wi-Fi ルーターと同じ機能を持つ、Wi-Fi の親機として働きます。iOS デバイスは、この S300 を親機とする Wi-Fi に接続することにより、AirPlay が可能となります。

S300 を Wi-Fi ルーターに接続しなくても使える、Wi-Fi ルーターが無い場所でも使えるという利点がありますが、iOS デバイスが S300 に接続しているときは、図 2. に示すように、普段使っているネットワークとインターネット接続からは切り離された状態になります。従って、AirPlay Direct モードで S300 に接続している間は、iOS デバイスは、Wi-Fi 経由ではメールの更新や、インターネットで検索したり YouTube の動画を見たりはできない状態になることにご注意ください。また、PC / Mac から AirPlay Direct モードを使う場合は、PC / Mac が Wi-Fi インターフェースを内蔵している必要があります。このため、自宅で Wi-Fi ルーターを日常使っている場合は、S300 をネットワークに接続する前に、S300 からの再生を試すには AirPlay Direct モードは適していますが、その後は S300 を Wi-Fi ネットワークに接続して AirPlay モードで使うことをお勧めします。

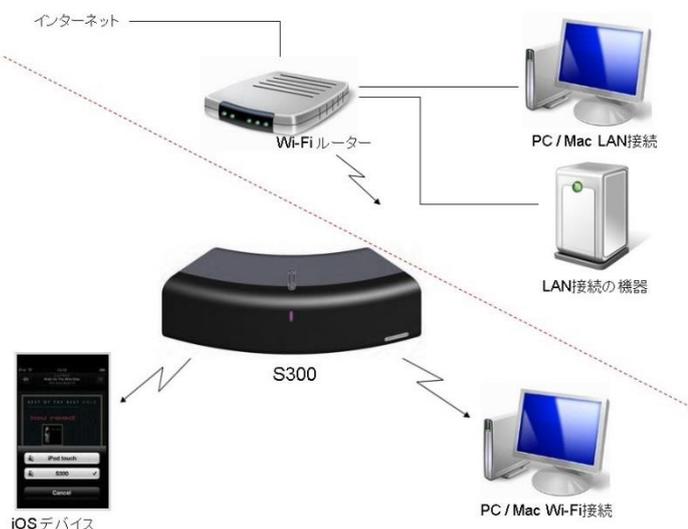


図 2 AirPlay Direct モード

### まとめ

	AirPlay モード	AirPlay Direct モード
利点	iOS デバイスは通常通りに使える LAN 接続の PC/ Mac からも AirPlay 可能 YouTube の音声を AirPlay することも可能	Wi-Fi ルーターに接続する前に AirPlay が可能 Wi-Fi ルーターが無い場所でも使える 尋ねてきた友人の iPhone を、Wi-Fi ルーターに接続しなくても使える
デメリット / 制約事項	最初に Wi-Fi ルーターへの接続が必要 (6 ページからの解説をご覧ください。)	AirPlay Direct 中は、インターネットへの接続、メールのチェックが行えない (YouTube にアクセスできない) LAN 接続の機器からは、AirPlay が使えない AirPlay を使うたびに、Wi-Fi の設定が必要

## 仕様

	S300
周波数レスポンス	55Hz - 30kHz
最大音圧	104dB
出力パワー (RMS)	バス: 2 x 50 watts (0.2% THD+N, 100Hz) トウィーター: 2 x 20 watts (0.2% THD+N, 100Hz)
使用ドライバーユニット	2 x 4" (100mm) C-CAM® コーン バス・ドライバー 2 x 1" (25mm) C-CAM® ゴールドドーム・トウィーター
システム形式	2 ウエイ、リア・バスレフ・ポート
Aux 入力 インピーダンス、感度	10k Ohms/ 300mV
S/N 比	> 94dB
DA コンバーター	28 - 56 Bit dual precision
電源電圧	90 - 264v (オートレンジ)
出力アンプ形式	クラス D (デジタルアンプ)
消費電力	スタンバイ時: < 0.5W ティピカル: 10W 定格出力時: 140W
対応ファイルフォーマット (AirPlay)	AAC, ALAC, MP3
対応ファイルフォーマット (Airstream)	AAC, ALAC, MP3, FLAC
ワイヤレスネットワーク	802.11b/g
規格認証	ETL/ CE/ FCC/CB/ Erp/ Wi-Fi/ Wi-Fi WMM/ Apple MFi Certified
寸法 (H x W x D)	150 x 467 x 154mm (5 7/8 x 18 3/4 x 6 1/8")
色 (仕上げ)	本体: チャコールグレー / グリル: 黒 本体: 白 / グリル: ライトグレー
重量	4.6Kg (10lb)

モニターオーディオは、予告無く仕様を変更する場合があります。



iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod shuffle, and iPod touch は Apple Inc. の登録商標です。(registered in the U.S. and other countries.)  
iPad は Apple Inc. の登録商標です。



“Made for iPod,” “Made for iPhone,” and “Made for iPad” とは、iPod、iPhone、または iPad と適合するようにデザインされ、製造者が Apple の基準に合うことを検証したデバイスです。Apple Inc. は、このデバイスの動作、適合性に関して責任は負いません。

## 動作がおかしいとき

S300をお使いの上で、動作がおかしい、またはトラブルと思われる時に、まずは以下のガイドに従って簡単な確認をしてください。

### Wi-Fi ネットワークに接続できない

- お使いの Wi-Fi ルーターが、802.11b か、802.11g に対応しているか確認してください。S300 は、これ以外の方式には対応していません。もし、お使いの Wi-Fi ルーターが複数の無線 LAN 方式を切り替えられる場合は、802.11b か 802.11g を含む動作モードになっていることを確認してください。
- ルーターの DHCP が有効になっていることを確認してください。
- 電子レンジなどの、無線 LAN の信号を妨害する可能性のある機器から遠ざけてください。
- もし、PC から Wi-Fi ネットワークの設定をする場合は(9 ページからの手順)、PC が Wi-Fi インターフェースを持っていて、それがオンになっているかを確認してください。9 ページからの手順は、LAN ケーブルだけでネットワークに接続されている PC からは行えません。
- Wi-Fi ルーターの SSID 名が、アルファベットと数字だけであり、"%", "#", "\*" などの記号を含んでいない事を確認してください。
- ルーターの割振る IP アドレスに余裕があることを確認してください。ルーターが割振ることができる IP アドレスのトータル数には上限があり、それを超える台数の機器をネットワークに接続することは出来ません。

### 再生音が出ない

- iOS デバイスの側のボリュームが最小になっていないか、デバイスがプレイの状態になっているかを確認してください。
- 電源ケーブルが正しく接続され、S300 の電源が入った状態(電源スイッチの LED が白く点灯している状態)になっているか、確認してください。
- お使いの入力ソースに対応した入力になっているか、18 ページの表と、インフォメーション LED で確認してください。

### S300 が反応しない

- 電源ケーブルが正しく接続され、S300 の電源が入った状態(電源スイッチの LED が白く点灯している状態)になっているか、確認してください。
- 一旦電源ケーブルを抜き、電源スイッチの LED が消えてから、電源ケーブルを再び接続し、電源をオンにしてみてください。
- お使いのデバイスと、S300 が、同一のネットワークに接続されているか、確認してください。
- S300 のファームウェアが最新のものが確認してください。最新でなければ、15 ページからの手順に従って、ファームウェアのアップデートをしてください。

### 再生の途中で音が時々途切れる

- S300 を、Wi-Fi ルーターに近づけてみてください。
- 可能な場合は、近所の Wi-Fi ネットワークと重なる無線 LAN のチャンネルを避けてください。
- お使いのネットワークのスピードが十分速いことを確認してください。同じ Wi-Fi ネットワークを同時に多くの機器が使っている場合は、使用していない機器をオフにしてください。また、無線 LAN の信号が弱い時も、データ転送速度が遅くなります。S300 を Wi-Fi ルーターに近づけてください。
- もし、Wi-Fi ルーターが、QoS (Quality of Service)の機能を持っている場合は、有効にしてください。
- もし、複数の Wi-Fi ルーターをお使いの場合、S300 が接続されているルーター以外の Wi-Fi ルーターを、一旦オフにしてみてください。

### AirPlay のアイコンが表示されない

- S300 と iOS デバイス/ PC / Mac とが同一ネットワークに接続されていることを確認してください。
- 時には、S300 がネットワーク上で認識されるまでに、30 秒程度かかることがあります。一旦 iTunes や、「ミュージック」を終了し、しばらく待った後に再度試してみてください。

### MAC / PC から AirPlay の接続ができない

- ファイアウォール、セキュリティソフトを一時的に無効にして、AirPlay に必要なポートがブロックされていないか確認してください。

Windows の場合は、「スタート」-「コントロールパネル」-「システムとセキュリティ」-「Windows ファイアウォール」で確認、変更ができます。ここに、「これらの設定は、ベンダーアプリケーション xxxx で管理されています。」と表示される (XXXX はアプリケーションの名称) 時は、表示されたセキュリティソフトがファイアウォールを管理しています。セキュリティソフトの設定で一時的に無効にできます。

Mac の場合は、メニューバー左上のアップルマークから「システム環境設定」-「セキュリティとプライバシー」を選び表示されたウィンドウのファイアウォールというタブです。

ファイアウォールを無効にすることで AirPlay に接続できるなら、ファイアウォールが必要な接続をブロックしています。ファイアウォールの設定を見直してください。

### その他の場合

- AirPlay で音楽を再生中に、停止したり、音が途切れる場合、お使いのデバイス (iPod Touch、iPhone、iPad、Mac、PC、iTunes) と S300 を再起動してみてください。
- 他のコンピュータや iOS デバイスで、インターネットからのビデオのストリーミング再生や、大きなファイルのダウンロードをしている最中は、Wi-Fi ルーターのデータ転送能力に余裕がない可能性があります。AirPlay の最中は、Wi-Fi ルーターの負荷を軽減してください。

If still experiencing difficulties after making the suggested checks, please call the help desk for further assistance. The help desk is open from 9.00am to 5.00pm (GMT), Monday to Friday (excluding Bank Holidays) and can be contacted on +44(0) 1268 798567.

Alternatively contact the store you purchased the S300 from

## ファクトリーリセット

トラブルの時や S300 が反応しなくなった場合など、必要な時には、以下の方法で S300 を工場出荷時の状態に戻す事ができます。但し、Wi-Fi ルーターへの接続に必要な情報、APC の結果もリセットされますので、最初からセットアップの手順を繰り返す必要があります。本当にリセットが必要な時に限って行ってください。

1. S300 の電源がオンの状態で、下図矢印の **Wi-Fi Sharing / Factory Reset ボタン**を、約 12 秒間、電源がスタンバイになる(電源ボタンが赤く点灯する)まで押し続けてください。



2. 電源がスタンバイになったら、S300 は工場出荷時の状態にリセットされています。



## リモコンの電池の交換

1. リモコンを、ボタンの面が見え、電源ボタンが自分の方を向くようにして、左手でしっかりと持ってください。但し左手の指がボタンのある面に掛からないようにしてください。右手でボタンのある面を、図の矢印方向に強く押ししてください。(かなり強く押す必要があります。)



2. ボタンのある面が動き始めたら、力を緩め、そのまま押し続けると、ボタンのある面は、下半分から外れます。
3. ボタン電池を横方向にずらして取り出し、新しいボタン電池 CR2025 (3 V) と交換してください。
4. リモコンのボタン面を元に戻します。

## 用語解説

ネットワーク (ローカルエリアネットワーク: LAN) コンピュータやプリンターなどが、お互いに通信できるように相互に接続する技術、又は接続されたシステム全体。現在はほとんどイーサネットという技術が使われ、機器の接続には LAN ケーブルか Wi-Fi (無線 LAN) が使われています。

### Wi-Fi

Wi-Fi は、無線でネットワークに接続する無線 LAN の規格です。Wi-Fi Alliance という米国に本拠地を置く業界団体により、Wi-Fi 規格のデバイス同士の相互接続が確認されていることを示します。使用する周波数や通信速度により、802.11 b、802.11g、802.11j、802.11n、802.11ac 等と呼ばれる複数の規格があります。相互に接続するためには、この規格が一致している必要があります。S300 では、802.11b と 802.11g が使えます。

### Wi-Fi ルーター / Wi-Fi 親機

無線 LAN の子機と通信し、インターネットや他の有線の LAN で接続された機器へのアクセスを提供します。また、家庭や事業所内の複数の機器(デバイス) から、インターネットへのアクセスを提供するルーターの機能を兼ねていることが多いので、Wi-Fi ルーターとも呼ばれます。

### SSID (Service Set ID)

Wi-Fi は電波を使用するため、密接した住宅地などでは、多数の Wi-Fi 親機が通信可能な範囲に存在します。そこで接続する Wi-Fi 親機を識別するために、Wi-Fi 親機毎に振り当てられた名前が SSID です。Wi-Fi ルーターを購入した時に、割り振られている SSID がありますが変更する事も可能です。他のユーザーが勝手にネットワークにアクセスすることを防ぐため、認証の手順とそこで使われる暗号化キーが使われます。

### WEP, WPA, WPA2

Wi-Fi ネットワークへの無断侵入を防ぐための手順(プロトコル)の名称です。WPA2 がもっとも推奨されている方式ですが、機器によっては対応できないものもあり、Wi-Fi 親機ではいくつかの方法を選べるようになっていています。お使いの機器で問題が無い場合は、WPA2 または WPA にしておいてください。

### 暗号化キー

WEP, WPA のプロトコルでアクセスを許可するためのパスワードのことです。WEP の場合は WEP Key、WPA の場合は WPA Passphrase と呼ばれます。

### IP アドレス

インターネット上またはローカルエリアネットワークで、通信する相手を正しく指定するための、識別用番号のこと。ローカルエリアネットワーク上では、192.168.xxx.yyy という体系の番号が使われています。

### MAC アドレス

IP アドレスが、ネットワークに参加する時に割り振られる番号であるのに対し、MAC アドレスはネットワーク機器それぞれに固有に割り振られた番号(アドレス)です。

### DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)

機器が、ローカルエリアネットワークに参加するときに、IP アドレスなど通信に必要な情報を自動的に設定する機能。通常ルーター又は Wi-Fi ルーターがこの機能を持っています。

### ファイアウォール

PC が、勝手に外部からアクセスされないように、ネットワークからのアクセスに対して、予め許可したプロトコルや許可した相手からのアクセスだけに制限する機能。防火壁にたとえてつけられた名称。

## オーナー情報

以下の情報は修理やサポートを受けるときに必要な場合があります。ご購入時、セットアップ時にメモしておかれることをお勧めします。

## 製品の情報

モデル名: Airstream S300

製品シリアル番号 \_\_\_\_\_

ご購入日 \_\_\_\_\_

MAC アドレス \_\_\_\_\_

IP アドレス \_\_\_\_\_

## 販売店情報

販売店名 \_\_\_\_\_

住所 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

郵便番号 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_

メールアドレス \_\_\_\_\_



Monitor Audio Ltd. 24 Brook Road Rayleigh

Essex, SS6 7XJ England

Tel: +44 (0)1268 798567

Fax: +44 (0)1268 740589

Email: [info@airstream-ma.com](mailto:info@airstream-ma.com) Web: [www.airstream-ma.com](http://www.airstream-ma.com)

**Designed and Engineered in the UK**

**Made in China**

Version 1. 2013